

環境研究総合推進費令和 7 年度事後評価個票

研究課題番号	S2-9-3
研究課題名	県外最終処分・周辺地域の将来デザイン利用に向けた社会受容性評価と合意形成フレームワークに関する研究
研究実施期間	2022（令和 4）年度～2024（令和 6）年度
研究代表機関名	産業技術総合研究所
研究代表者名	保高 徹生

1．評価結果

評価ランク：A

2．委員の指摘及び提言概要

県外最終処分および中間貯蔵施設周辺復興地域の将来デザインに対応した土地利用に係る円滑かつ公正な合意形成に向けて、社会受容性を評価するとともに多面的公正や環境面、社会・経済面を考慮したフレームワークの立案を目的とした。社会受容性に関わる意思決定要因や中間貯蔵施設立地地域の地域ストック・重要事項を多角的に抽出し、相互に検証したこと、従来規範的に議論されてきた内容を実験社会科学の手法を用いて実証的に示し比較的明確な分析が行われたことは評価できる。論文発表をはじめ成果の発信も多い。一方、アンケートや合意形成の仕組み構築にテーマ 1 による開発技術の具体的な組み込み、合意形成実現のための示唆や具体的提案がなされるとよかった。また、成果を今後の研究計画につなげること、政策展開の具体策や方法論に盛り込むことなどの活用が重要となる。